

# 年次支部ニュース

第16号

## 卒業おめでとう



総合6位でゴールした井上主将



箱根駅伝スタート

©関東学連/月刊陸上競技

## 2022年 ご卒業 まことにおめでとうございます

今年、卒業された皆さんは社会人として、あるいは大学院等に進まれる方もいるでしょう。どちらに進んでも中央大学卒業生として学員（同窓）となるわけです。今年の卒業生は、昨年同様に、新型コロナウイルスの脅威の下、授業はオンラインにより自宅等で受講するなど、これまで経験しなかった生活パターンを経験されて卒業されたわけです。卒業された皆さんはそれぞれの企業に就職しても従来のような働き方からデジタル化の推進を目指した企業の姿に直面するでしょう。コロナ禍では社会活動も大きく変化し、働き方、教育、医療、芸術文化活動など大きく変わっていく環境の下で、予測していなかった企業経営の下で職場に入り社会人として成長していくことになります。

中央大学学員会は、約58万人の全卒業生で構成されている団体です。学員会の目的は、学員相互の親睦を図り、母校中央大学の発展とそ

の使命達成に寄与することを目的としています。近年の社会の課題として、デジタル化の推進、更には少子高齢化のもとで人生100年時代といわれています。大学で学んだことをベースに、特定の企業で定年を迎えても、更に学びと仕事を継続してご自分を高めていくことが望まれます。中央大学では平成27年に中長期事業計画（Chuo Vision 2025）が策定され、多摩キャンパスと都心に新校舎の建設が進んでいます。また学員会本部が入居していた駿河台記念館は、20階建てのシンボルタワーとして建て替えられます。大学入試志願者の減少など大学間競争も激化する中で、中央大学は資格試験、スポーツでも目覚ましい成果を上げています。スポーツ等を通じて人間力の向上、健康維持にも結び付けることが期待されています。

学員会としても、学員が一丸となって支援していく所存です。皆さんは、これから社会人としてより充

中央大学学員会  
会長

久野 修慈



実した人生を謳歌することを期待しているでしょう。学員会の構成は、卒業年度毎に構成する年次支部があり、各年次支部を横断的に交流する年次支部協議会が幅広く活動しています。また、全国の都道府県に地域の支部、職業区分等による職域支部があり、海外を含め約250の支部が設置されています。卒業生は希望する支部を選んで入会することができますので、学員会と関わりをもち活用してください。そして、交流のネットワークの下にゆるぎない絆となり、終生交流を図れるでしょう。

卒業生の皆さん、明るく健康で気概のある若者となって国内外の企業や地域社会、学校などでお役に立てるよう前進してください。我々は、皆さんが各支部に入会されることを心待ちにしています。どの支部も若い学員を大歓迎しています。

## 総合6位！ シード権獲得

第98回箱根駅伝は中央大学が6位に入り、今秋の出雲駅伝ならびに来年の箱根駅伝のシード権を獲得しました。マスコミでも「古豪復活」と注目を集めました。あまたの記録を持つ中央は上位争いをしなければいけない大学だといわれています。長い低迷期を抜けた今年のチームの4年生に、卒業を前に競技生活を振り返っていただきました。

©関東学連/月刊陸上競技

1区で飛び出し区間新記録を出した吉居大和選手(2年)

### 井上大輝主将へのインタビュー

**質問** 今年のチームはどんなチームでしたか？

**井上** 選手だけではなく、外れた選手も裏方も目標のために一生懸命頑張れるチームです。

**質問** 「Cのマーク」はプレッシャーでしたか？

**井上** 伝統校の主将をしていると実感する部分は多かったですが、しんどい時こそ、それを誇りに胸を張って生活しようと心がけていました。

重く感じることは、主要大会前、もし結果が出ないと自分の責任もあるので始まる前は選手として臨むこととは違う緊張感がありました。

**質問** 主将として一番に心がけたことは何ですか？

**井上** 僕は走りで引っ張って行く立場ではなかったので、とにかくチームの雰囲気が良くなるようにコミュニケーションをよく取りました。皆が目標に向かって頑張ろうと思えるような、和を意識してコミュニケーションを取っていました。

**質問** 主将になって良かったと思う

ことは？

**井上** 全日本大学駅伝、箱根駅伝でシード権が取れたこと。10区が決まったとき沢山の部員が早く送り出してくれたこと。しかし、やって良かった！と言えるほど簡単なものではなかったなと感じています。

**質問** 新主将へ託する思いを教えてください

**井上** 若林は私生活でもよく過ごした後輩です。しんどいことがかなり多いと思いますが、1月3日が終わった後にやって良かったと思うのでそこまで頑張ってください！(笑)今よりさらに結果が求められる厳しい立場になると思いますが、応援しています！



アンカーとして10区を走った井上主将  
©関東学連/月刊陸上競技

### 4年生に聞く



井上大輝

法学部法律学科

- ①シード権で襷を持ってくること。僕までの9人の走者が3番で渡してくれたので気楽に走れました。
- ②箱根駅伝。区間順位は、最後足が攀った影響でかなり落としてしまいましたが、攻める走りができたので良かったと思います。
- ③今年の箱根駅伝の慰労会。皆が本当に楽しそうに騒いでいて幸せでした。来年もあれをやってください。
- ④チームメイトの皆、1年間僕を支えてくれて本当に感謝しています。そして、最後僕を走らせてくれた藤原監督、花田さん、山本さん、本当にありがとうございました。三大駅伝暴れちゃってください。
- ⑤箱根の悔しさを晴らし駅伝で結果を出す。三浦拓朗、森風也に勝ちます！

## 質問事項

- ① 今年の箱根駅伝について「自分の役割も含め」どのように総括していますか？
- ② 4年間で納得できる(印象的な)走りができた競技大会・区間・記録は？
- ③ この4年間で心に最も残る「思い出」あるいは「得たもの」は？
- ④ 卒業するにあたって母校、またはチーム・友人・後輩への思いをひと言
- ⑤ 今後の進路を踏まえた目標や夢は？

Question



倉田 健太

商学部経営学科

①まず、一選手としてエントリーされていながら出走できなかった悔しさが大きいです。しかし、箱根に至るまでの練習の中であったり、4年生として雰囲気を高めていく役割は担えたと思っています。何より、シード権を獲得し、来年度三大駅伝に出場する権利を残せたことが非常に嬉しいです。

②2021年度関東インカレハーフマラソン8位。

③諦めずに目標を追い続けることの重要性和難しさを感じました。そして箱根駅伝を目指し、走り続けた4年間で心身ともに大きく成長することができました。

④ここまで本当にお世話になりました。来年度、三大駅伝に出場する後輩の活躍を楽しみにしています。

⑤一般企業に就職します。箱根駅伝を目指した4年間のよう、目標に向かってひたむきに努力する人間になりたいです。



森 智哉

商学部商業貿易学科

①今年は選手の送迎や付き添いで関わらせていただきました。特に自分が深く関わった選手が楽しそうに

走っており、とても嬉しかったです。

②日体対抗戦で初めて走った800mがとても印象に残っています。

③挑戦する大事さを学びました。長距離から中距離へ思い切ってチャレンジできたことは良かったです。

④ひたすら頑張ってください。

⑤とにかく頑張ります。



手島 駿

商学部会計学科

①自分は2区でシード権以内で襷を繋ぐことが役割でした。結果は100%満足いくものではありませんでしたが、役割は最低限果たすことができたと思います。

②第53回全日本大学駅伝、8区、区間5位。

③同期、後輩とのバーベキュー。

④部活動に打ち込める環境を作ってください、ありがとうございます。また、チームメイトのおかげで4年間頑張りが切ることができました。

⑤カッコいいお父さんになりたいです。



花の2区を走って健闘した手島選手  
©関東学連/月刊陸上競技



森 風也

経済学部経済学科

①今年は走ってチームに貢献できなかったという意味では役割を果たすことができなかったと思います。しかし、給水や付き添いで出走した選手のサポートができた上でシード権を獲得できたことを嬉しく思います。

②納得できる走りができたのは1年生の最後に出走した中大記録会の10000mです。1年目は怪我もあり、箱根駅伝にも絡むことができず悔しい思いをしていました。その中でチームトップを取れたことがとても自信になりました。

③4年間で色々な人に支えられていることを知りました。走ることもそのものは1人でもできますが、応援して下さる方々や私の目標達成に尽力して下さる方々がいたことが私の原動力になりました。本当に感謝しています。

④後輩たちは自信を持って陸上を続けてほしいと思っています。力がある分プレッシャーもあると思いますが、自分たちの力を信じて頑張してほしいと思います。

⑤実業団のHONDAで競技を続けさせていただきます。ニューイヤー駅伝の連覇と世界大会出場を目標に今後も頑張りたいと思います。壁にぶつかった時には中大で学んだ4年間の自信にして乗り越えていきたいです。

# 卒業生アンケート



3区を激走する三浦選手  
©関東学連／月刊陸上競技



三浦 拓朗

商学部商業貿易学科

- ①5位という目標は達成できませんでしたが、シード権を獲得することができて良かったです。自分の役割としては順位を上げることでしたが、それも果たすことができ良かったです。
- ②2年時の関東インカレ5000m入賞。

- ③4年目に結果として後輩に残せたこと。
- ④来年は三大駅伝全てに出場するので、スキのないようにこれからも頑張ってください！
- ⑤日本を代表するような競技者になります。



藤井 拓輝

商学部経営学科

- ①今年の箱根駅伝はメンバー外の選手も含めて一体となって試合に向かっていました。一枚岩の強さがチームに生まれてきたのかなと思います。
- ②奥多摩溪谷駅伝競走大会3区20分22秒。
- ③「思い出」チームメイトが面と向き合って叱ってくれたこと。「得たもの」自分の汚さと向き合う心。
- ④最後までやり抜けたのはたくさん

の人の支えがあったからです。本当にありがとうございました。

- ⑤常に何かに挑戦し続ける人生を送りたいです。



谷澤 竜弥

経済学部国際経済学科

- ①自分は裏方として「選手に気持ちよく走ってもらえるように」と考えて動いていました。今年度のチームを体現してくれて、走ったメンバーに限らず、チームの皆が輝いていて、自分自身ずっと感動していました。大学での4年間は辛いことの連続でしたが、耐えてやってきて良かったなと思えるような箱根駅伝でした。
- ②学生個人選手権1500m 3分52秒25
- ③「積み上げること」の大切さを学びました。努力が花開く瞬間を沢山見ることができ、自分も頑張る原動力となりました。



箱根駅伝のランナー（在校生）：左上1区吉居選手（2年）、上段中4区中野選手（2年）、右上5区阿部選手（1年）  
下段左から6区若林選手（3年）、7区居田選手（2年）、8区中澤選手（3年）、9区湯浅選手（2年）

©関東学連／月刊陸上競技

④沢山の応援のおかげで最後までやり遂げることができました。これからも中大の活躍を楽しみにしています。4年間ありがとうございました。

⑤これから作ります。



南 後 海 里

経済学部  
経済情報システム学科

①今大会は出走した選手はもちろんのこと、サポートに回ってくれた全ての部員の思いが1つになったからこそ、10年ぶりのシード権獲得を成し遂げることができたと思っています。自分自身も主務として全力を尽くし、役割を全うすることができ、大きな達成感を感じています。

②3年時から主務として動いているので、それまで納得のいく走りではできませんでしたが、全日本や箱根駅伝でシード権を獲得できた時は、自分自身が走ったかのような喜びを感じることができ、とても印象に残っています。

③4年間で得ることができたのは多くの人との「関わり」です。選手時代から本当に多くの方と関わることができ、少なからずその言葉や行動から影響を受けました。また、主務として、チームを支える立場になってからも、自分自身が多くの人に支えられていると感じる日々でした。そのような多くの「関わり」があったからこそ、ここまで成長できたと思っています。だからこそ、これからも多くの「関わり」を大切に生きていきたいと思っています。

④4年間本当にありがとうございました。

⑤特に明確な夢や目標はありませんが、4年間で学んだことを活かして、社会に貢献できるよう頑張っていきたいと思います。

## 箱根駅伝オンライン応援で沿道支部から熱いメッセージ

中央大学学員会 副会長 小酒 修

今年の箱根駅伝は総合6位で10年ぶりにシード権を奪還して大いに溜飲を下げる結果になったことから、年次支部の皆様におかれましては、「今年は良い年になるぞ!」とさぞかしお慶びのこととご推察いたします。

今回の箱根駅伝で2日間に亘りオンライン応援を企画・実行しましたが、例年箱根駅伝が通過する沿道で組織的に応援している学員会や父母連絡会の皆様のパネリストとしてご出演いただき、箱根駅伝のTV中継と並行して通過順にオンラインでメッセージをご披露いただくことで「応援の襷リレー」ができました。

今回の応援企画につきましては、実は昨年10月の駅伝予選会での応援が2年続けて無観客となったことから、父母連絡会の東京多摩支部より「中央大学に特化した解説をしてもらえないか」という要望が中央大学へ挙がったことを知り、中央大学スポーツ振興・強化推進事務局と学員体育会で協力して検討を重ね「箱根駅伝予選会オンライン応援企画(トライアル)」を企画しました。

短期間で準備した開催でしたが、視聴者は390名に上り、かなり手応えを感じましたので、箱根駅伝本戦も沿道応援が自粛となった場合は、何とか「オンライン応援を」と思料していました。

その後、箱根駅伝本戦も応援自粛となったことから、オンライン応援を本格的に検討しましたが、2日間に亘る本戦をメインパネリスト2名で乗り切ることが不可能と判断し、12月中旬に関係する学員会支部と

父母連絡会支部よりパネリストを選出していただき、使用するWebex接続確認・操作方法のご説明、開催前日深夜まで画面共有する写真等も含め準備して本番を迎えました。

いよいよ本番が始まり、一区の吉居大和選手がトップで襷を渡すことになり、多摩キャンパスのオンライン応援企画を運営している会場では、大いに興奮して応援の襷をリレーして行こうという雰囲気になりました。

視聴実績としては2日と3日を合わせて延べ978名に上り、出演されたパネリストの皆様から来年こそは優勝を目指す応援を沿道で行いたい



という熱いメッセージをいただきましたので、「来年は沿道から応援模様を中継していただけたら」と思いを巡らせています。

年次支部からの出演は、48会、50会、平成二年会でしたが、大平台のヘアピンカーブで例年応援されている48会は20年間の箱根駅伝応援と出雲や伊勢への遠征応援について熱いメッセージをご披露いただきました。今回は50会との応援コラボも行う形になりましたので、来年も大いに応援を盛り上げていただけることを期待しております。

最後に、益々の年次支部協議会の盛会を祈念してパネリストとしての出演を御礼申し上げます。

## 年次支部協議会副代表幹事 (57 ネット支部) 乗兼氏が 商学部客員講師に!

白門57 ネット支部 村松 聖子

11月11日(木)、年次支部協議会副代表幹事・57ネット前幹事長の乗兼浩明さんが、商学部の講座(全ての学年・学部・学科で受講可能)「働くこと入門9」の客員講師として、『「ツーリズム産業」の話をお願いします』というテーマで約250名の学生にオンライン授業を行いました。

この授業を現地(学員会会議室)にて直接聴講するという機会に恵まれました。

母校中大との関わりやなぜ旅行業界(JTB)に入ったのかなどの後に、本題の「1.旅行業の話」「2.ツーリズム産業の話」「3.皆さんへのメッセージ」に。

乗兼さんは学生時代にボランティアで特養老人ホームを訪問した際に、入所者さんたちに「人生で一番感動

したことは何ですか?」と伺ったところ、皆さん旅行の話をしたところで、その経験により「そんなに人を感動させることができる業界に携わりたい」と旅行業界を目指すようになったそうです。

「1.」では、「旅行業というのは単に旅行商品を販売するのではなく、旅行を使ってお客様の課題を解決すること」「そのためには『ヒューマンタッチ』『お客様に寄り添う心』が何よりも大切」という話が心に残りました。

「2.」の中の「ツーリズム産業のこれから」という話では、学生たちに実際にスマホを使って「広島」と「HIROSHIMA」を検索させて、ここに出てくる画像の違い(観光地の美しい風景:原爆ドームや原爆で荒

廃した様子)を体験させた上で、海外の方に過去と現在の正しい姿を理解していただくこともツーリズム産業の使命であるという話もありました。

「3.」では、「①自分のことに興味・関心を持つ」「②他人のことに興味・関心を持つ」「③たくさん指紋を残そう」という3つの柱についての話。そして、「第一希望通りの人生なんて無い。→例え第一希望通りで無くとも、今のポジションで良かったと思えるようにすることが大切」という言葉は、学生たちの心に残ったことでしょう。

会場に居た私たちが一番びっくりしたのは、70分予定の講義がピッタリ70分で終わったこと。みんな思わず拍手! でした。

## 中央大学出身大相撲力士を励ます会の活動

事務局 三浦 昌治  
(昭54年卒・相撲部OB)

当会は平成8年(1996年)開催から26年、名古屋場所前に伊藤倫文会長はじめ、学員会名古屋支部と体育会中部懇話会が中心となり母校出身力士を激励する活動を毎年開催しております。

この2年間はコロナ感染拡大の影響により中止を余儀なくされてきましたが、是非とも今年は開催すべく準備を進めております。令和4年7月1日(金)ホテル名古屋ガーデンパレスに於いて開催予定です。多くの学員会の皆様、大相撲ファン(学員以外の方々も大歓迎)の皆様とお会い出来ることを楽しみにしております。小学生以下無料となっております。

さて、現時点(1月現在)での力士



情報ですが、一山本関(先場所十両優勝)は、幕内で活躍、矢後関は十両で勝ち越し再幕内を目指しています。昭和の大横綱大鵬関の孫である納屋と菅野、西川(幕下優勝)は関取に近い位置まで番付を上げてきました。

久々に5名の力士が励ます会に参加予定で賑やかになりそうです。また、現役を引退し親方としても活躍中の片男波(元関脇玉春日)、大鳴門(元大関出島)、押尾川(元関脇豪

風)も一般の学員会員として、毎年参加してくれております。

参加者一番の楽しみは、力士達と食事しながら気軽にお話したり記念撮影したりと好評です。また、毎年恒例の福引では、参加者また子供達や力士達とで和気あいあいの中、時が過ぎるのを忘れるほど盛り上がります。景品のお目当ては、枱席やら一般では手に入りにくい大相撲関連商品等数多くあります。最後は参加者全員で校歌・応援歌を合唱しお開きとなります。

励ます会を様々な形で応援していただいている学員会並びに体育会中部懇話会の皆様はこの場をお借りし心よりお礼と感謝申し上げます。

## 三戸町ふるさと応援大使に 白門りんごの会会長松木茂夫氏が就任 !!

白門りんごの会副会長 藤原 薫

白門44会支部白門りんごの会会長松木茂夫氏(川崎支部支部長)が、この度「三戸町ふるさと応援大使」として任命されましたことを心よりお喜び申し上げます。

今回の任命は、白門りんごの会10年に亘る活動が高く評価されたものであり、大変名誉なことでもあります。「三戸町ふるさと応援大使」の委嘱は「三戸町の事業等でゆかりのある者及び団体」に該当するためです。


これがきっかけとなり、地元三戸町から、中央大学に入学希望する学生が多数出てくることを大いに期待します。それが中央大学のブランド力向上に、大きく貢献することにもなります。

「白門りんごの会」は2011年に、白門44会支部が中心となり、オリジナルなりんごオーナー制度として発足。参加者は昭和28年卒～平成8年



三戸町ふるさと応援大使に委嘱する  
任期 令和三年十一月一日から  
令和五年十月三十一日まで  
三戸町長 松尾 和彦  
三戸町ふるさと応援大使に選ばれました  
三戸町にかかりのある俳優・自衛官  
騎手など、松木氏を含む計12名が

白門りんごの会  
会長 松木茂夫  
神奈川県川崎市在住。平成25年度に三戸りんごのオーナー制度とPRを目的に発足した白門りんごの会の会長として10年間活動している。白門りんごの会は、中央大学のOB等で構成されていることがきっかけで、中央大学理工学研究所とつながり、同研究所が開発したアシストスーツなどで農家を支える協定を締結している。  
※三戸町ふるさと応援大使 再任者一覧より抜粋。



卒と地域支部等で、会の目的は東日本大震災復興応援、三戸町の活性化と地域おこし、三戸りんごブランドの向上、生産者との交流、近隣の市・町で活躍されている中央大学OBとの交流など、10年に亘り活動の輪を広げてきました。りんごの収穫体験&交流会、ホームカミングデーで三戸りんごのPR・展示即売会、腕の上げ下げの手助けをする負担軽減装置を農業用にも転用可能にするための改良・改善支援(理工学部中村太郎研究室と三戸町との個別連携協定締結: 2018年6月・大学発のベンチャー

企業からTASKI/タスキの名で発売)、理工学部食堂に三戸りんごを利用した特別カレー販売、10周年記念事業「友好の桜」の植樹等、このような活動が三戸町へ大いに貢献していると評価されたものであります。

松尾町長様・竹原義人議長様(前町長)・農林課をはじめ三戸町役場・地元町民・梅内りんご組合・そして関連するすべての皆様方のお陰です。

第二のふるさと三戸町の発展のために、微力ながら白門りんごの会の仲間と共に、できる限りの応援をしていきたいと考えています。

## OB向け経済学部ゼミ学生によるオンライン・プレゼン大会開催 (大学・学員交流部主催)

毎年恒例の経済学部ゼミ学生によるOB向けのプレゼン大会が、2月6日にコロナ禍の昨年同様オンラインで開催された。このイベントは毎年11月に開催されている経済学部の伝統的ゼミプレゼン大会で優秀賞を取ったチームを招き、OBに向け

て再現してもらおう企画である。社会人の視点からの質疑応答などを通じて、新たな問題点、課題などを協議し、プレゼン終了後に学生とOBが直に交流する懇親会は他にはあまり例のないイベントである。現在、コロナ禍で大学でのゼミ活動も思う

ように出来ない中、学生が工夫を凝らし地域活性化のためにテーマを考え、情報収集、データに基づく分析等の研究成果は内容も斬新で興味深く参加OBからも好評であった。

今回の3チームによるプレゼンの発表テーマは



- ①【観光班】銚子電鉄を活かした地域活性化～車内美術館、フォトコンテスト等を提案
- ②【イベント企画班】町田薬師池公園四季彩の杜に若年層を呼び込むための施策を提案
- ③【商品開発班】八王子名産の「八蜜」! 地元の名産の魅力を伝える提案

伸び悩み衰退しつつある地域をいかに活性化させるか、学生の新鮮な発想から企画研究したことを、各事業者に提案して喜ばれているよう

ある。今年もレギュラー参加の経済学部伊藤伸介教授のご好意による学生3チームとOB含めオンラインでの参

加者は総勢38名であった。学生支援活動を通じて、学生諸君の様々な取り組みを知る有意義かつ貴重な機会となった。

## 学生・学員スポーツの活躍

### 岡澤セオン選手、 日本人初の金メダル ボクシング男子世界選手権

ボクシング男子世界選手権の決勝戦が2021年11月5日(金)にセルビアのベオグラードで行われ、ウェルター級の岡澤セオン(平30卒)選手がO・ジョーンズ選手(アメリカ)に判定で勝利、日本人として初めての金メダルを手にした。

#### ▶中央大学2021年度卒業式・大学院修士学位授与式(予定)

**理系** 2022年3月24日(木)予定 理工学部・理工学研究科  
場所:後樂園キャンパス

**文系** 2022年3月25日(金)予定 法・経・商・文・総政学部・大学院5研究科  
場所:多摩キャンパス

#### ▶中央大学2022年度入学式(予定)

**文系** 2022年4月2日(土)予定 法・経・商・文・総政・国際経営・国際情報学部・大学院5研究科

場所:多摩キャンパス

**理系** 2022年4月3日(日)予定 理工学部・理工学研究科  
場所:後樂園キャンパス

## 全日本学生剣道 優勝大会2021で優勝

### 男子は史上初の3連覇、 女子は法大を下し初優勝

全日本学生剣道優勝大会で、中央大学が男女とも学生日本一を勝ち取った。男子は第69回全日本剣道学生優勝大会が2021年10月24日(日)、大阪で行われ、国士館を破って勝利を収め、3大会連続、15度目の優勝を果たした。女子は第40回日本女子学生剣道優勝大会が11月14日(日)に愛知県で行われ、法政大との接戦を制し2-1で勝利、優勝を決めた。

## 全日本学生ハンドボール 選手権大会(インカレ) で優勝

### 40回ぶり4回目

2021年11月6日(土)~11月10日(水)に山梨県で開催された高松宮記念杯男子第64回全日本学生選手権大会で、中央大学が決勝戦で大阪体育大学を32-28で破り、優勝を決めた。さらに中央大学からは5名が個人賞に選出された。

## 学員会からのお知らせ

#### ▶2022年学員会全国支部長会議(予定)

2022年5月20日(金) 14時~  
多摩キャンパス

#### ▶2022年定時協議員会・定時学員総会(予定)

2022年5月21日(土) 13時~  
多摩キャンパス

学員会から

卒業生全員に卒業を記念して

**「卒業記念Mug Cup」を贈呈  
(COACH)**

~学員間の絆の広がり、学員間の親睦の証~

祝 ご 卒 業



## 新規会員の参加を歓迎します!!

各年次支部は、同期会の集まりで大学、学員会会員との繋がりで活動しています。

▶スポーツ応援「陸上・水泳・野球・ラグビー他」(箱根駅伝の応援、東都大学野球応援、オリンピック選手などの応援ほか)

**各年次支部の活動…好みの活動に任意に参加ができます。**

▶会員間のビジネス交流で人脈の拡大、更に先輩・後輩との繋がりを醸成

▶趣味の一致で、幅広い交流とコミュニケーションの充実

▶同期生の各職専門家との交流で、信頼感をもって問題解決への導きを図る

▶講演会、セミナーなどへの参画により自身の教養などを向上させる

《加入などの問い合わせ》学員会事務局: 03-6261-1615

《年次支部ニュース 第16号》 2022年3月10日 発行

発行者/中央大学学員会年次支部協議会

発行人/清野 強

編集/年次支部協議会広報部

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-3 一ツ橋ビル4階

TEL 03-6261-1615

印刷所/株ディスカバリー